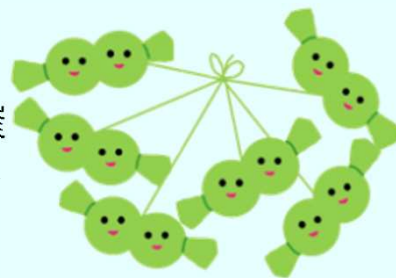


ささだんごネットかわらばん

2019年度 ささだんごネット主催 新潟ビジョンケア研究会 開催日程



昨年発足した新潟ビジョンケア研究会
眼科医療従事者を対象に
今年度も臨床で役立つビジョンケア講習を行います！

【テーマ1】「新しい視覚障害認定基準を理解する」

各テーマの内容は
裏面をご覧ください

開催済◆5月12日(日) 10:00-12:30 (第3回研究会)

会場：上越市民プラザ 第4会議室

開催済◆6月2日(日) 9:00-11:30 (第4回研究会)

会場：新潟大学医学部医療人育成センター2階セミナー室1

※このテーマ(第1-4回)の参加者は合計163名、うち眼科医56名(県内54名) 視能訓練士112名でした

【テーマ2】「知っておきたい“読めなくなってきた”への段階的対応」

受付中 各回とも 申込締め切り日 6月21日(木) ←延長しました

◆6月30日(日) 10:00-12:00 (第5回研究会)

会場：上越市民プラザ 第4会議室

◆7月6日(土) 15:30-17:30 (第6回研究会)

会場：新潟大学医学部医療人育成センター2階セミナー室1

◆7月7日(日) 9:30-11:30 (第7回研究会)

会場：新潟大学医学部医療人育成センター2階セミナー室1

【テーマ3】「“困りごとを減らす道具”を知ろう

受付中 一補装具・日常生活用具・便利グッズ

◆9月1日(日) 10:00-12:00 (第8回研究会) 申込締め切り日 8月15日

会場：上越市民プラザ 第4会議室

◆11月30日(土) 15:30-17:30 (第9回研究会) 申込締め切り日 11月15日

会場：新潟大学医学部医療人育成センター2階セミナー室1

◆12月1日(日) 9:30-11:30 (第10回研究会) 申込締め切り日 11月15日

会場：新潟大学医学部医療人育成センター2階セミナー室1

※ 上越会場は無料駐車場完備です

※ 新潟会場開催日は大学職員駐車場を開放しますのでこちらをご利用ください

(医学部赤門前の道を海方向に直進し、岡本小路向かって左折する手前左側に入り口があります)

お申込み・お問い合わせ先

ささだんごネット E-mail: sasadango.niigata.sasadango@gmail.com

お名前・ご所属・職種・参加日時と会場(上越か新潟か)を明記してお申し込みください

参加費(資料代含む)は各回 1000円です(当日ご持参ください。おつりの要らないようご協力お願い致します)

お申込み時のメールアドレスは申込受付のお返事のほか、事前・事後の諸連絡に使用させていただきます

メール環境をお持ちでない方は下記にご連絡ください。折り返し担当者よりお返事致します

新潟大学眼科事務局 025-227-2296

【テーマ1】 「新しい視覚障害認定基準を理解する」

昨年7月の視覚障害認定の新基準導入後、身障手帳の新規取得や重症等級への級変更の対象となる眼科患者さんが大幅に増えています。眼科スタッフがそれに気づき、メリットを適切に患者さんに説明するためには新基準をしっかりと学ぶ必要があります。

この回では身体障害認定のポイントを理解し、やや複雑になった視野障害の判定の実際を演習形式で実践的に学ぶことができます。

1. 身体障害者手帳取得のメリット
2. 視覚障害等級基準の変更の概要
3. 視野障害判定の演習（GPによる判定・HFAによる判定）

※ 第1回・第2回とほぼ同じ内容です。はじめての方、新職員の方など、復習のための再受講などどなたも歓迎です）

【テーマ2】 「知っておきたい“読めなくなってきた”への段階的対応」

外来でよく聞く「読めなくなってきた」の訴えにどのように対応されていますか？近用眼鏡では読めず、手術で改善する可能性もない場合どうしたら良いのでしょうか？拡大鏡を勧めるとき、その方にあった適切な度数や使い方を指導してあげていますか？流行りのハズキルーペの特性を理解していますか？緑内障と黄斑変性では有効な補助手段が異なることもあります。視機能低下の進行に伴う段階的な対応など、眼科医療スタッフにふさわしいプライマリーケアを学ぶことができます。

【テーマ3】 「“困りごとを減らす道具”を知ろう —補装具・日常生活用具・便利グッズ—(仮題)」

見えにくくなって、どんどんできないことが増えてきても「見えなくなったのだからどうしようもない」とあきらめてしまっている方は多いものです。そして、家庭内、職場での役割を失い、楽しみもあきらめて自宅に引きこもっている視覚障害者が多くおられます。

ちょっとした小道具からICT機器まで、見えない苦勞を減らすさまざまな道具があり、それを知ることで明るくなっていく方が多いこともまた事実です。問題は、そうした品は身近に見る機会はなく、困っている方々に常に接している眼科スタッフも知らないことが多いために当事者が知ることもないままになってしまうことです。

この研究会で、さまざまな道具を知り、入手方法や公的な補助の申請の仕方までを学び、患者さんに自信をもってお勧めできるようになりましょう。

テーマ1-3

講師：張替涼子（新潟大学眼科ロービジョン外来担当）

- ★ 情報提供用の「ささだんごネット」のリーフレットは現在改訂版（2018年度版）となっております。ぜひ外来に設置してご活用ください。新潟大学医学部眼科事務局 025-227-2296 にご連絡いただければ必要部数をお送りしております。

